

図書だより



菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

泗水図書館 ☎0968(38)6866 [休館日]月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 ☎0968(25)1672 [休館日]火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 ☎0968(25)1580 [休館日]日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 ☎0968(25)3332 [休館日]日曜日・祝日



司書のつぶやき
 暖かい日差しの中で
 ゆっくり本を読みたく
 くなりました。

話題

お薦め! の図書



熊本の目鑑橋 345

上塚尚孝 著 (熊日出版)
 熊本は日本で有数のめがね橋の宝庫です。四季折々の表情を見せる石橋を県北、県央、県南に分け、流域別に写真や地図とともに掲載。菊池の石橋も紹介されています。

旭志公民館図書室

日本のむかしばなしのおみくじをひこう!

旭志公民館図書室で本を借りると「日本のむかしばなし」をモチーフにしたおみくじが引けます。借りる本は何でもかまいません。この機会に図書室で本を借りて子どもを思い出ししてみたいか? 楽しい思い出も一緒によみがえってくるかもしれませんね♪
 昔から世代を越えて語り継がれているお話は何度読んでも面白いです。子どもさんに昔話読んであげたら一緒に楽しい時間が過ごせるはずですよ。

旭志公民館図書室には昔話のコーナーがあります。まだあなたの知らない昔話の発見もあるかもしれません。



期間 4月24日(月)～5月12日(金)
 ところ 旭志公民館図書室

泗水図書館

車いす、歩行器、拡大鏡などが利用できます!

泗水図書館は高齢者や体の不自由な人でも安心して利用できるよう、館内はバリアフリーになっています。車いす、歩行器、拡大鏡なども準備していますので、気軽に職員までお尋ねください。



歩行器

大きな文字で読みやすい
 大活字の本も
 所蔵しています!



拡大鏡

[問い合わせ先] 泗水図書館

泗水図書館

人生の踏絵 遠藤周作 著
 白い衝動 吳勝浩 著
 星をつける女 原宏一 著
 銀の猫 朝井まかて 著
 狩人の悪夢 有栖川有栖 著
 本の時間を届けます 篠賀典子、芹澤健介、北條一浩 著
 少年時代 高倉健 著
 おしらのばん人とガレスピー ベンジャミン・エルキン ぶん
 ここからだしてくれ〜! ヴァンサン・ブルジョ え
 によっ! ザ・キャビンカンパニー 作

七城公民館図書室

結物語 西尾維新 著
 桜風堂ものがたり 村山早紀 著
 料理上手の自家製レシピ 有元葉子 ほか 著
 10ねこ 岩合光昭 著
 小学校の生活 はまのゆか 著
 ソードアート・オンライン 19 川原礫 著

旭志公民館図書室

花を呑む あさのあつこ 著
 私をくいとめて 綿矢りさ 著
 はたらくしくみがマンガでわかる! いでんしずかん 北村雄一 著
 アフガニスタン戦記 内山進 著
 ネコツメのよる 町田尚子 作
 ドラえもん はじめての論語 安岡定子 著
 あがりめさがりめ つちだのぶこ 絵

中央公民館図書室は新館移転作業に伴い、閉室しています。オープンは今秋を予定しています。ご迷惑をおかけしておりますが、よろしくお願いいたします。

文芸きくち



万句の里俳句会 2月句会

風花の競ふが如く舞ひにけり
 風音に残る余寒の城址かな
 臥す母の顔に差し来る春日かな
 ちらほらと茶色の土手に草青む
 春雷に地震の恐怖の蘇り

野中 公枝
 隈部 輝子
 加藤 妙子
 北村 妙子
 宮本 雅子

梅が咲きラッパ水仙葉も伸びる庭にいつしら春しのびいし
 ひい孫の泣き声もある初正月迎え弥栄屠蘇をいたたく
 「短歌はもう止めたら」と娘が問いつめる我への鞭と置きかえ励まむ
 入りつ日よ急ぐ事なけれ金色に冠雪きらめく鞍岳映ゆる
 半世紀遅れの隣国工業の煤煙海越え日本を襲う

緒方 正俊
 高木 精
 池田カツ子
 佐々 重弘
 嶋田 晴美

せせらぎ俳句会 2月例会

早春の空に弾けて児等の声
 登校日靴の跡の薄氷
 髪切り襟首疎む冬の道
 豆をまく横綱稀勢の初々し
 寒厳し思ひのままにならぬ指

五丁 義昭
 藤本アツ子
 森 正子
 藤本 邦治
 寺本 和子

老紅梅石垣を越えいちめん薄紅色に春を装う
 又一人送りに帰る道すがらしとど降り来る雨は春雨
 雪原に赤きフリスビー宙を舞う父子の歓声光りの中に
 叱られてしょんぼり紗菜にウインクでいちご一粒渡せば笑顔
 幼き日喘息病みて点滴に通いし孫娘の今日は花嫁

松本 和子
 山城 雅子
 坂本 玲子
 江頭 桂子
 林 淑子

旭志文芸教室俳句の会 2月詠草

霜きびし真白に大地浄めけり
 紅さして行こう今年も初詣
 初時雨山は雪かよ傘の女
 熱熱のおでん一人の聖夜かな

芹川のり子
 中尾ヨシコ
 芹川 蓉子
 水谷 ミネ

お相撲さんは土俵に裸身で汗をかく炬燵に私はひと日を籠もる
 稀勢の里努力が爽り横綱に待ち焦がれたり日本国中
 水鉢の厚き氷を割り待てば水を求めて小鳥集まる
 庭畑の雑草溝に埋め置くに小春日浴みて小草の覗く
 買ひ換へし辞書の手触りいとほしく思ひ付くまま繰りて楽しむ

山下 菊代
 田中 遙子
 岩根 博恵
 川口 敦子
 北村 玉枝

肥後狂句水笑会 2月例会

あぶにゃあぶにゃ ふざけて通る子供たち
 日帰り旅行 着いたらすぐに帰らなん
 かすくり寄せ すきやきの肉がじめとる
 眠られん 昔の彼と会った日は
 万歩計 一歩けいなら買うばいた

中島 五女
 御手洗三代
 井手 水光
 柏原 乗仏
 山隈 好茶

今日も来し古戦の跡のしづけさよ鳥語も人語も寒風のなかに
 畑の上をひよどりガウインブルドンのコートボーイの如く過ぎゆく
 幹裂けし梅の古木は力あり枝いっぱい白花かをる
 難いま静かに眠る物置きに娘は遠く新潟に居り
 ほのかなる香りまとへる紅梅の淡紅やはらに薄暮をひらく

村上さき江
 安藤 則子
 岩永 典子
 古賀 勝士
 中川 愛子

菊池短歌会 3月詠草

さわやか大学文芸クラブ 2月歌会